

岐阜県立群上高等学校

平成23年度 産業社会と人間 シラバス

教科	公 民	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	総合学科	1 年 4 ・ 5 組
使用教科書	なし					
副教材等	Benesse 進路ノート type II		その他プリントなど			

1 担当者から生徒へのメッセージ

「産業社会と人間」という科目は総合学科にしかない。総合学科は自分の進路を自分で考え、自分で決め、自分で切り開いていく学科である。ボンヤリ学校生活を送っているだけでは自分が受ける授業さえ決まらないのだ。総合学科生は、2年生になると、一人一人受ける授業が違う。それぞれが自分に必要だと判断し、自分が選んだ授業を受ける。「ともだちと一緒に」なんてあり得ないのだ。つまり、総合学科の生徒は他の学科の生徒よりも、早く自律（自立）し、自分の将来を考えなければならないのだ。

そんな総合学科の1年生諸君の強い味方がこの「産業社会と人間」である。諸君はこの授業を通じて、自分をみつめ自分の特性を発見し将来の職業を考えられるようになる。

そして、その職業に必要な資格や行くべき進路先がわかるようになる。

さらに、そこにたどりつくための受験科目選ぶべき授業がわかるようになる。予定である。これによって諸君は2年次や3年次のカリキュラムを自信を持って選べるようにならずである。

同時に、これらのプログラムによって諸君はめざす進路先にたどり着くために必要なモチベーションを手に入れる予定になっている。

このようにして手に入れたモチベーションによって1月には高校1年から退職後までのライフプラン（生涯設計）を書いてもらうことになっている。

最後に、将来を考える際に忘れてはいけない事がある。

それは、今はできない事でも、努力の末に将来できるようになっているかもしれないという事だ。この授業の中でも将来に必要な知識や技能は養われていくのである。

この授業は1年生の時しかなく、なおかつ週2時間しかないので、1時間、1時間を真剣に受けて欲しい。「産業社会と人間」の授業が1時間終わるたびに、諸君は大人になってゆくのだ。

2 学習の到達目標

- ・ 社会人としての正しい職業観を身につけ、働くという事の意味を理解できるようになる。
- ・ 自分の特性を知り、自分に向いている職業、なりたい職業を決める事ができる。
- ・ なりたい職業にたどりつくための進路先を決める事ができる。
- ・ 進路先にたどりつくために受けるべき授業を選択する事ができる。
- ・ 職業生活を中心とした自分のライフプランを描くことができる。
- ・ 自分の意見や調べた内容などを適切な手段で発表することができる。

3 評価の基準

評価は次の観点から行います。

- 【 関心・意欲・態度 】・・・ 将来の職業や、進路先に対しての興味関心が強くあるかどうか。
授業、ワークシート作業、インタビュー、オープンキャンパス、発表資料作成、発表、などに対する取り組みはどうか。
周囲の人間と積極的に意見交流できているか。
- 【 思考・判断 】・・・ さまざまな事実や資料から、適切な情報を読み取ることができているか。
自分の将来についてどれだけ具体的に考える事ができているか。
- 【 技能・表現 】・・・ 調べた事や、考えた事を、文章で表現したり、情報機器を有効に

岐阜県立群上高等学校

活用して発表できているか。

- 【 知識・理解 】・・・ 職業や、資格、進路先、受験科目、選択科目、などに対する正しい理解ができているか。

4 課題・提出物等

- ・進路ノートやワークシート、発表原稿、パワーポイントファイル、評価用紙、ライフプラン作文、などを適宜提出してもらおう。指示をよく聞くこと。

5 学習計画

月	単元名	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	主な評価方法
4	ガイダンス	「産業社会と人間」の年間予定の説明	
	校内講演会	担当教員のライフプラン講演	
5	自己理解	進路ノートを利用し、自分の過去、現在の興味、関心を探り、これに自分の特性を重ね合わせて進路探しをはじめ。B「進路探しを始めようⅠ」C「進路探しを始めようⅡ」D「自分のことをもっと知ろう」E「自分史を書こう」夢ナビを利用して、自分の興味関心がどのような学問につながっているのかを知り視野を広げる	進路ノートの課題に対してにどれだけ主体的に取り組めたか。 進路ノートの内容とわかりやすさで評価する。
	職業研究Ⅰ	進路ノートや映像コンテンツを利用し、職業研究を行う	
	カリキュラム研究	生活福祉系列、国際系列、情報系列の模擬授業と、系列の説明を受け、自分が選択する授業(カリキュラム)を考える	
6	職業研究Ⅱ	一人が一人ずつ職業人にインタビューを行い、社会人として働くとはどういう事なのかを具体的に学び、正しい職業観を養う。それを情報機器を使用し、まとめ発表する。さらに代表者の発表を班員で補助し、全員で発表を行う。	インタビューにどれだけ積極的に取り組めたか。 正しい職業観を養えたか。 発表の技能があるか。 について発表資料の内容と発表の内容で評価する。
7			
9	進路先研究Ⅰ	この時点で自分が興味ある大学のオープンキャンパスに参加し、大学とはどういうところなのか、何を学ぶところなのかを知り、それを情報機器を使用し、まとめて発表する。さらに、他の人の発表から、行っていない他の学校につ	オープンキャンパスに積極的に取り組めたか。 行った先の学校からどれだけの情報

岐阜県立群上高等学校

		いても学ぶ。	を引き出せたか。 発表の技能があるか。 について発表資料の内容と発表の内容で評価する。
10	サブ進路職業研究	9月までかけて考えた職業や進路と違う職業や進路について調べ、視野や可能性を広げる。	
	カリキュラム面接		
	進路先研究 II	考えたすべての可能性について、学問、資格、職業などについて考える。	
11	特別講義	面接官の立場になって就職を考えたり、転職や再就職について考える。	
	校外講演会	生活福祉系列、国際系列、情報系列に関する職場や、地元郡上市で働いている大人の話聞く。	
	校内講演会	校内の身近な人達のライフプランを聞く。	
12	特別講義	JTCA の搬昌よる貿易についてのゲームと譜雖	
	カリキュラム面接	カリキュラム選択について担当者と面接する	
	サブ進路研究 II	10月に行った RCAP の結果を利用して自分の可能性をもう一度考える。	
1	ライフプラン	1年間で知った自分の特性や、可能性を考え合わせ、現在から退職後までのライフプランを考え、作文にまとめる。	自分の将来についてどれだけ論理的に、具体的に考えられているか。 について、書き上がった作文の内容で評価する。
2	職業進路先演習	大学入試や、資格試験、公務員試験・、就職試験など、将来自分が受けるかも知れない試験を受けてみる。	
3			